

ICT活用レポート！（授業編）

くすのき1組(知的障害学級・第3学年1組) 道徳科 教材名「バトンにかけた夢」(自作資料)での実践		
項目	内容	
ICT 活用の場面	<ul style="list-style-type: none"> ・エピソードスライドを大型テレビに流す。 ・タブレットを用い、ワークシートに入力する。 ・実際の動画を見る。 	
使用した ICT 機器	<ul style="list-style-type: none"> ・教師用タブレット ・生徒用タブレット ・大型テレビ 	
具体的な方法	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドを使い、一文ずつ提示することで内容を理解しやすくする。 ・生徒自身が生徒用タブレットを用い、考えをまとめ、グループで共有することで考えを深める。 ・実際の動画を視聴し、感動を深める。 	
成果と課題	○成果	△課題
	<ul style="list-style-type: none"> ・スライドの文字が少し小さかったが、ふりがなをつけて一文ずつ提示したことで、分かりやすくなった。 ・生徒自身が生徒用タブレットを用い、考えをまとめ、グループで共有することで考えを深めることができた。 ・実際の動画を見せたことで、友情について深く考えることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習シートの背景を色分けして、選んだ方の色のシートに考えを記入させると、画面一覧で見せたときに選んだ人数が一目でわかったと思う。 ・最後は「今後どのように友だちと接するとよいか？」という発問をすると価値の自覚化をもっと深められたと思う。
感想や改善策	<p>くすのき学級の生徒2名はいつもふたりで学習しているので、意見の発表や交換があまりできないことと他者の意見を聞く機会が少ないことから、今回は3年1組の道徳の授業をいただき、他者の意見を聞いたり自分の意見と比較したりできるようにした。また、私も3年生に対しても友情について考えるのによりよい題材だと思い授業を行った。くすのき学級のふたりが、3年1組の友だちの考えを共有したり、自分の考えを伝えたりすることができて良かったと思う。しかし、自作資料であるため、まだまだ資料の内容や発問、スライドの提示の仕方などを改良する必要がある。よりよい題材にしていくため、先生方からいただいたご意見を参考にしていきたい。</p>	